



東小学校便り

HARUKA

木 洩 れ 陽

令和7年2月14日 No.10

暦の上でも立春が過ぎ、ここ数日はまさしく春の日差しが降り注いでいます。これまでメジロたちがせわしなく飛び交っていたサザンカもすっかり花びらを散らせ、学校の花壇では色とりどりのパンジーが大きな花びらをまとってます。

さて、令和6年度を締め括る今月の詩を紹介します。今月は永井龍雲さんの「道標ない旅」です。年配の方はご存知かもしれません、この詩にはメロディーがついています。若者に対する応援ソングとして、流行したことを記憶しています。多くの子ども達が暗唱にチャレンジしてほしいなと思います。

「道標（しるべ）ない旅」

永井龍雲（ながい りゅううん）

閉ざされた部屋の窓を 開けてごらんよ
いつまでもそんな風に ふさいでいないで
そこにはあの日希望に燃えて きみが見上げた
青い空が変わらずに 続いているはずだ
大空に群れなす鳥たちよ きみの声を見失うなよ
青春を旅する若者よ きみが歩けばそこに必ず 道はできる

～1・2月の学校生活場面の紹介～

【餅つきをしました】

【ALT研修会を開きました】

【新入児交流会を開きました】



【そろばん学習を行いました】 【風に立つライオンproject授業を行いました】

